

Nutanix.NCP-DB.v2024-06-17.q26

試験コード:	NCP-DB
試験名称:	Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) v6.5
認定資格:	Nutanix
無料問題数:	26
バージョン:	v2024-06-17
アクセス数:	287
ページビュー数:	260
https://www.jpnpdf.com/Nutanix.NCP-DB.v2024-06-17.q26-mondaishu.html	

最新問題: 1

すべてのユーザーがプロファイルを利用できるようにするには、次の手順を実行する必要があります。

- A. プロファイルの作成権限を持つアクセス コントロール ロールを作成し、すべてのユーザーに割り当てます。
- B. 必要なユーザーを含むアクセス コントロール グループを作成し、データベース管理者ロールを付与します。
- C. プロファイルを更新し、ステータスを公開済みに設定します。
- D. プロファイルを更新し、利用可能な状態を [すべて] に設定します。

Answer: (解答を表示する)

正解は D です。これにより、管理者は追加の権限やロールを必要とせずに、すべてのユーザーがプロファイルを利用できるようになります。プロファイルは、NDB がデータベース サーバーまたはデータベースを管理する方法を定義する設定のコレクションです。デフォルトでは、プロファイルを作成したユーザーとデータベース管理者ロールのみがプロファイルを使用できます。すべてのユーザーがプロファイルを利用できるようにするには、管理者はプロファイルを更新し、利用可能な状態を「すべて」に設定します。これにより、すべてのユーザーがデータベース操作用のプロファイルを表示および使用できるようになります。

他のオプションは、追加の手順が必要か、目的の結果が得られないため、不正解です。オプション A は不正解です。プロファイルの作成権限を持つアクセス コントロール ロールを作成し、それをすべてのユーザーに割り当てると、ユーザーは独自のプロファイルの作成のみが許可され、既存のプロファイルは使用できなくなります。オプション B は不正解です。目的のユーザーでアクセス コントロール グループを作成し、それにデータベース管理者ロールを付与すると、すべてのユーザーではなく、それらのユーザーのみがプロファイルを使用できるようになります。オプション C は不正解です。プロファイルを更新してステータスを公開済みに設定しても、プロファイルの可用性は変更されず、プロファイルの状態のみが変更されます。公開されたプロファイルは、管理者によってテストおよび検証され、すぐに使用できるプロファイルです。Adraft プロファ

イルは、まだ開発中またはテスト中であり、使用する準備ができていないプロファイルです。参考資料: Nutanix データベース管理 & オートメーション (NDMA) コース、Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) 認定、Nutanix NCP-DB 認定試験のシラバスおよび学習ガイド、Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) データシート

最新問題: 2

顧客は、実稼働データベースのスナップショットを 4 時間ごとに作成するように NDB を構成しています。

開発者は、毎日午前 7 時に現在の運用データのコピーを必要とします。

この要件を満たす最も効率的な方法は何でしょうか？

- A. RBAC の開発者に、必要に応じてクローンを作成する権限を与えます。
- B. 午前 7 時に最新のスナップショットからクローンを作成するスクリプトを実行します。
- C. 毎日午前 7 時にスナップショットからクローンを作成するように Time Machine を構成します。
- D. 毎日午前 7 時にデータ更新スケジュールを実行するように設定します。

Answer: (解答を表示する)

Time Machine は、データベースのスナップショットを作成および管理できる Nutanix Era の機能です。

Time Machine を使用すると、任意のスナップショットから手動または自動でクローンを作成できます。毎日、毎週、毎月などのスケジュールに基づいてスナップショットからクローンを作成するように Time Machine を構成することもできます。こうすることで、本番データベースからの最新データを使用してクローンを常に最新の状態に保つことができます。このシナリオでは、開発者の要件を満たす最も効率的な方法は、毎日午前 7 時にスナップショットからクローンを作成するように Time Machine を構成することです。これにより、開発者の時間と労力が節約されるだけでなく、既存のスナップショットを使用することでストレージの消費も削減されます。参考文献:

- * Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース
- * Nutanix Certified Professional - データベース自動化データシート
- * Nutanix Certified Professional - データベース オートメーション (NCP-DB) 5 試験

最新問題: 3

アラートが生成された場合、NDB はどのように通知を送信しますか？

- A. SNMP
- B. API
- C. パルス
- D. 電子メール

Answer: D (メッセージを残す)

NDB は、アラートが生成されると電子メールで通知を送信します。電子メール通知は 1 人以上の受信者に送信するように構成でき、アラートの重大度、カテゴリ、説明、解決手順を含めるようにカスタマイズできます。電子メール通知は、NDB で管理されたデータベースと操作のステータスと問題についてデータベース管理者やその他の関係者に通知するのに役立ちます。

NDB は、SNMP、API、または Pulse を介して通知を送信しません。SNMP は、ネットワーク上の管理対象デバイスに関する情報を収集および整理するためのプロトコルです。API は、異なるアプリケーションまたはシステム間でデータを通信および交換するためのインターフェイスです。Pulse は、診断データと使用状況データを収集し、分析とサポートのために Nutanix に送信する Nutanix クラスターの機能です。

参考文献:

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 3: Nutanix Era の展開、レッスン 3.2: Nutanix Era の展開、スライド 11。

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 5: Nutanix Era の操作、レッスン 5.1: Nutanix Era の操作、スライド 6。

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 5: Nutanix Era の操作、レッスン 5.2: Nutanix Era のアラートと通知、スライド 5 ~ 7。

最新問題: 4

管理者はスナップショットからソース データベースを復元する必要があります。データベースはソース ボリュームを他の複数のデータベースと共有します。

NDB はこのデータベース復元操作をどのように処理しますか？

- A. 特定のデータベース ファイルをソース ボリュームにコピーします
- B. ソース ボリュームを特定の DB ディスクに置き換えます。
- C. ソース ボリュームをスナップショット ボリュームに置き換えます。
- D. すべてのデータベース ファイルをソース ボリュームにコピーします

Answer: [解答を表示する](#)

正解は A です。NDB は、同じソース ボリュームを共有する他のデータベースに影響を与えることなく、特定のデータベース ファイルをスナップショット ボリュームからソース ボリュームにコピーすることによってデータベースの復元操作を処理するためです。NDB は、コピーオンライトメカニズムを使用してスナップショットとクローンを作成します。つまり、データベース ファイルに加えられた変更のみがスナップショット ボリュームまたはクローン ボリュームに保存され、元のファイルはソース ボリュームに保持されます。したがって、スナップショットからソース データベースを復元する場合、NDB はスナップショットの作成後に変更された特定のデータベース ファイルをコピーし、ソース ボリュームに上書きするだけで済みます。他のオプションは、データ損失または不必要なデータ転送の原因となるため、正しくありません。オプション B は不正解です。ソース ボリュームを特定の db ディスクに置き換えると、同じソース ボリュームを共有する他のデータベースが消去されてしまい、望ましくないからです。オプション C は不正解です。ソース ボリュームをスナップショット ボリュームに置き換えると、同じソース ボリュームを共有する他のデータベースや、スナップショットの作成後にソース データベースに加えられた変更も消去され、望ましくないからです。オプション D は不正解です。すべてのデータベース ファイルをソース ボリュームにコピーするのは非効率的であり、変更されたファイルのみをコピーする必要があります。他のファイルはソース ボリュームにすでに存在するため、不必要です。参考資料: Nutanix データベース管理 & オートメーション (NDMA) コース、Nutanix Certified Professional -

データベースオートメーション (NCP-DB) 認定、Nutanix NCP-DB 認定試験のシラバスおよび学習ガイド、[Nutanix Support & Insights]

最新問題: 5

展示を参照してください。

<input type="radio"/> bsmith	Super Admin	Local User	
<input type="radio"/> bsmith@ntnxlab.local	Database Admin	AD Group	bsmith@ntnxlab.local

展示に示されているアカウントの管理者は、新しいデータベース管理者をローカル ユーザーとして NDB に追加しようとしていますが、タスクを完了できません。

問題の原因として最も考えられるものは何ですか？

- A. 管理者は Super Admin アカウントでログインしています。
- B. スーパー管理者アカウントには電子メール アドレスが必要です。
- C. 管理者はデータベース管理者アカウントでログインしています。
- D. ドメイン管理者グループのユーザーのみがローカル ユーザーを作成できます。

Answer: C (メッセージを残す)

展示によると、管理者はデータベース管理者アカウント (bsmith@ntnxlab.local) を使用してログインしていますが、このアカウントには NDB でローカル ユーザーを作成する権限がありません。[ユーザー タイプ] 列に示されているように、スーパー管理者アカウント (bsmith) のみがこの権限を持っています。したがって、管理者はログアウトし、スーパー管理者アカウントで再度ログインして、新しいデータベース管理者をローカル ユーザーとして NDB に追加する必要があります。参考資料: Nutanix Database Automation (NCP-DB) コースの詳細、Nutanix Database Automation (NCP-DB) 認定の詳細、Nutanix Database Automation (NCP-DB) YouTube プレイリスト、Nutanix Database Automation ユーザーガイド。

最新問題: 6

展示を参照してください。

Database Server VM

Create New Server

Use Registered Server

New Database Server VM

Database Server VM Name: Description:

Nutanix Cluster:

Software Profile: Compute Profile: Network Profile:

Version: October 20... [Update Version](#)

NDB Drive User: Password:

Enable High Availability (SIHA)

SYS ASM Password:

SSH Public Key for Node Access:

ASM Driver:

None
None
ASMFD

Cancel Next

NUTANIXTM

OEL79 および Oracle 19c で ASMLIB をテストするために、新しい Oracle SIHA DB および VM をプロビジョニングするリクエストを受け取ります。

プロビジョニング ワークフローを実行する場合、ASM ドライバー ドロップダウンで使用できるのは ASMFD のみです。

要求された SIHA DB および DB VM を ASMLIB でプロビジョニングするには何が必要ですか？

- A. ASMLIB ドライバーを含むようにソフトウェア プロファイルを更新します。
- B. ASMLIB を NDB サーバーにインストールします。
- C. NDB ドライバー構成を更新して、Oracle の ASMLIB を有効にします。
- D. ASMLIB をデータベース サーバーにインストールします。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

Nutanix Database Automation (NCP-DB) のコンテキストでは、新しい Oracle SIHA DB および VM をプロビジョニングするときに、ASM Driver ドロップダウンで ASMFD のみが使用可能な場合、ASMLIB が現在のソフトウェア プロファイルに含まれていないことを示します。要求された SIHA DB および DB VM を ASMLIB でプロビジョニングするには、ソフトウェア プロファイルを更新して ASMLIB ドライバーを含める必要があります。このアクションにより、プロビジョニング ワークフロー中に ASM ドライバー ドロップダウンのオプションとして ASMLIB が有効になります。

参考文献:

- * Nutanix Database Automation (NCP-DB) コースの詳細、セクション 2.3: Oracle データベースのプロビジョニング
- * Nutanix Database Automation (NCP-DB) 認定の詳細、目標 2.3: Oracle データベースのプロビジョニング

* Nutanix Database Automation (NCP-DB) YouTube プレイリスト、ビデオ 2.3: Oracle データベースのプロビジョニング

* [Nutanix Database Automation (NCP-DB) ユーザーガイド]、セクション 2.3: Oracle データベースのプロビジョニング

最新問題: 7

PostgreSQL 用の NDB ソフトウェア プロファイル バージョンを作成するには何が必要ですか？

- A. NDB に登録されたデータベース サーバー VM
- B. インストールされているデータベースのパッチ ファイル
- C. データベース ソフトウェアのインストーラー パッケージ
- D. Prism Element からの事前設定された OS イメージ

Answer: C (メッセージを残す)

PostgreSQL 用の NDB ソフトウェア プロファイル バージョンを作成するには、データベース ソフトウェアのインストーラー パッケージが必要です。このパッケージはソフトウェア プロファイルの基礎を形成し、PostgreSQL インスタンスのデプロイと管理を可能にします。参考: Nutanix Database Automation ドキュメント、特に PostgreSQL のソフトウェア プロファイルの作成と管理の分野。

最新問題: 8

管理者は SQL Server の累積的な更新プログラム (CU) を展開する必要があります。

NDB を使用してこの展開を準備するには、管理者はどのような手順を実行しますか？

- A. プロファイル VM にパッチを適用し、既存のソフトウェア プロファイルを削除し、プロファイル VM をソースとして使用して新しいソフトウェア プロファイルを作成します。
- B. CU 実行可能ファイルを使用して新しいソフトウェア プロファイル バージョンを作成し、そのバージョンを公開します。
- C. パッチをプロファイル VM に適用し、プロファイル VM をソースとして使用して新しいソフトウェア プロファイル バージョンを作成します。
- D. CU 実行可能ファイルを使用して新しいソフトウェア プロファイルを作成し、そのプロファイルを公開します。

Answer: C (メッセージを残す)

正解は C です。これは、NDB の SQL Server ソフトウェア プロファイルに CU を適用するための推奨手順に従っているためです。プロファイル VM にパッチを適用することで、管理者は CU が既存のソフトウェア プロファイル設定および構成と互換性があることを確認します。新しいソフトウェア プロファイル バージョンを作成すると、管理者はロールバック目的でソフトウェア プロファイルの前のバージョンを保存し、新しいバージョンをテストして公開できるようになります。オプション A は不正解です。既存のソフトウェア プロファイルが削除されるため、データ損失が発生し、ロールバックが妨げられる可能性があります。オプション B は、プロファイル VM にパッチを適用しないため不正解です。その結果、ソフトウェア プロファイルでエラーや不一致が発生する可能性があります。オプション D は、新しいバージョンではなく新しいソフトウェア プロファイルを作成するため、混乱や重複を引き起こす可能性があるため不正解です。

参考資料: 次のソースには、NDB でのソフトウェア プロファイルの管理とパッチ適用に関する詳細情報が記載されています。

* Nutanix データベース管理と自動化 (NDMA) コース、モジュール 5: NDB を使用したデータベースへのパッチ適用、レッスン 5.2: ソフトウェア プロファイルの作成と変更

* Nutanix Certified Professional - データベース自動化 (NCP-DB) v6.5、知識目標、セクション 4 - NDB 環境の運用と保守

* Nutanix データベース サービス (NDB) ユーザー ガイド、第 5 章: NDB を使用したデータベースへのパッチ適用、セクション 5.2:
ソフトウェアプロファイルの作成と変更

* Nutanix データベース サービス (NDB) ユーザー ガイド、第 5 章: NDB を使用したデータベースへのパッチ適用、セクション 5.3:
データベースパッチのテストと公開

最新問題: 9

データベース VM の HA ドライバーはどのようにアップグレードできますか?

- A. ワンクリックのソフトウェア アップグレード
- B. データベース VM OS のパッチ適用
- C. LCM ドライバーのアップグレード
- D. データベース ソフトウェアのパッチ適用

Answer: C (メッセージを残す)

HA ドライバーは、フェイルオーバー、フェンシング、ハートビートなど、データベース VM の高可用性機能を有効にするソフトウェア コンポーネントです。HA ドライバーは、Nutanix Prism のライフサイクル管理 (LCM) 機能を使用してアップグレードできます。LCM は、HA ドライバーに利用可能な更新を検出し、無停止でデータベース VM に適用できます。LCM は、ヘルスチェックとアップグレード前の検証を実行して、アップグレード プロセスが正常に完了したことを確認することもできます。ワンクリック ソフトウェア アップグレードは、HA ドライバーではなく Era ソフトウェア自体をアップグレードできる Nutanix Era の機能です。データベース VM OS パッチ適用は、HA ドライバーではなく、データベース VM のオペレーティング システムにパッチを適用できるようにする Nutanix Era の機能です。データベース ソフトウェアのパッチ適用は、HA ドライバーではなく、データベース VM のデータベース ソフトウェアにパッチを適用できるようにする Nutanix Era の機能です。参考文献:

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 2: NDB ソリューションの導入と構成、レッスン 3: NDB 高可用性の構成、スライド 9: HA ドライバーのアップグレード

* Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) 5 試験、セクション 4: NDB 環境の運用と保守、目標 4.4: データベースのアップグレード

最新問題: 10

NDBMulti-Cluster のデータ アクセス管理ポリシーの目的は何ですか?

- A. 複数の Nutanix クラスタを NDB に登録するには
- B. 単一の Nutanix クラスタでスナップショット操作を実行するには

C. NDB に登録されているすべての Nutanix クラスタ全体でタイム マシン データの可用性を管理するため

D. NDB に登録されているすべての Nutanix クラスタ全体でタイム マシンのデータ アクセスを削除するには

Answer: C (メッセージを残す)

データ アクセス管理 (DAM) ポリシーは、異なる Nutanix クラスタ間でタイム マシン データのアクセスと可用性を制御できる NDB マルチクラスタの機能です。DAM ポリシーを使用して、どのクラスタがソース データベースの Time Machine データにアクセスできるか、またどのクラスタがバックアップや災害復旧の目的で Time Machine データをレプリケートできるかを指定できます。DAM ポリシーは、ストレージとネットワーク リソースを最適化し、データベース ワークロードのセキュリティとコンプライアンスを確保するのに役立ちます。DAM ポリシーの目的は、NDB 設定ページの [クラスタの追加] オプションを使用して行われるため、NDB に複数の Nutanix クラスタを登録することではありません。DAM ポリシーの目的は、NDB ダッシュボードの Time Machine 機能を使用して実行されるため、単一の Nutanix クラスタでスナップショット操作を実行することではありません。また、DAM ポリシーの目的は、NDB に登録されているすべての Nutanix クラスタにわたるタイム マシンのデータ アクセスを削除することではありません。これは、[Time Machine] ページの [削除] オプションを使用して行われるためです。参考文献:

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 6: NDB マルチクラスタの管理、レッスン 2: データ アクセス管理ポリシー、スライド 3: データ アクセス管理ポリシー

* Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) 5 試験、セクション 6: NDB 環境の管理、目標 6.5: 手順の概念を適用してデータ アクセス管理 (DAM) ポリシーを作成する

最新問題: 11

管理者は、NDB の 2 つのクラスタにわたってストレッチ VLAN を追加する必要があります。このアクションを完了する前に、どの 2 つの前提条件を満たす必要がありますか? (2つお選びください。)

A. VLAN は IPAM である必要があります。

B. VLAN は静的である必要があります。

C. 両方のクラスタが NDB に登録されている必要があります。

D. Nutanix クラスタ管理を有効にする必要があります。

Answer: B,C (メッセージを残す)

ストレッチ VLAN は、複数の Nutanix クラスタにまたがる仮想ネットワークであり、同じサブネットを使用して異なるクラスタ上の VM 間の通信を可能にします。ストレッチ VLAN を使用すると、任意のクラスタからアクセスできるように仮想 IP アドレス (VIP) を必要とする HAProxy VM などの NDB コンポーネントに高可用性と負荷分散を提供できます。NDB の 2 つのクラスタにストレッチ VLAN を追加するには、管理者は 2 つの前提条件を満たす必要があります。VLAN が静的であることと、両方のクラスタが NDB に登録されている必要があります。静的

VLAN は、NDB によって自動的に作成および管理される IPAM VLAN とは対照的に、管理者によって手動で作成および構成される VLAN です。静的 VLAN は NDB のストレッチ VLAN に追加できますが、IPAM VLAN は追加できません。NDB にはクラスターとそのネットワークへの情報とアクセス権が必要なため、ストレッチ VLAN を追加する前に、両方のクラスターを NDB に登録する必要があります。

管理者は、Prism Element の詳細、エージェント ネットワーク 構成、およびストレージ コンテナ情報を使用して、NDB にクラスターを登録できます。もう 1 つのオプションである Nutanix クラスター管理は、NDB にストレッチ VLAN を追加するための前提条件ではありません。Nutanix クラスター管理は、管理者がクラスターの作成または削除、ノードの追加または削除、クラスター操作の実行など、単一の NDB UI から複数の Nutanix クラスターを管理できるようにする機能です。VLAN は NDB ではなく Prism Element で作成および設定されるため、ストレッチ VLAN の追加には Nutanix クラスター管理は必要ありません。参考文献:

- * Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) v6.5、セクション 2 - NDB ソリューションの導入と構成、目標 2.3: NDB 高可用性の構成
- * Nutanix データベース管理と自動化 (NDMA) コース、モジュール 3: Nutanix データベース サービス (NDB) のインストールと構成、レッスン 3.3: NDB 高可用性の構成、トピック: NDB HA アーキテクチャとコンポーネント
- * Nutanix データベース サービスの高可用性展開の概要、セクション: HAProxy VM とストレッチ VLAN
- * [アクセス モードまたはトランク モードで動作するように仮想 NIC を設定 - Nutanix]、セクション: アクセス モードまたはトランク モードでの vNIC の作成

最新問題: 12

展示を参照してください。



管理者は、NDB を使用して最初のクラスター化データベース環境をプロビジョニングしようとして失敗しました。操作は、展示に示されている操作エラーで失敗しました。

この操作中にどのデータベース エンジンがデプロイされていましたか?

- A. オラクル
- B. MySQL
- C. Microsoft SQL
- D. PostgreSQL

Answer: (解答を表示する)

展示内のエラー メッセージは、「すべてのオブザーバーのプロビジョニングに同時に 2 時間以上かかった」ため、「データベース サーバー VM の作成と登録」ステップ中に操作が失敗したことを示しています。このタイプのエラーは、高可用性を確保するために使用される MySQL グループ

レプリケーションの一部であるオブザーバーに関係するため、MySQL に関連しています¹。他のオプションは、クラスタリングにオブザーバーやグループレプリケーションを使用しないため、エラーメッセージとは関係ありません。参考文献:

*1: Nutanix Database Automation (NCP-DB) コース、モジュール 5: データベースの高可用性、レッスン 5.2:

MySQL グループレプリケーション、スライド 7

最新問題: 13

NDB ユーザーインターフェイスではどの言語オプションを表示できますか?

- A. 韓国語
- B. 日本語
- C. フランス語
- D. ドイツ語

Answer: B (メッセージを残す)

NDB ユーザーインターフェイスは、英語、中国語、日本語を含む複数の言語をサポートしていません。NDB 設定ページで言語設定を変更できます。現時点では、NDB ユーザーインターフェイスは韓国語、フランス語、ドイツ語をサポートしていません。参考文献:

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 1: Nutanix 時代の概要、レッスン 1: Nutanix 時代の概要、スライド 7: NDB ユーザーインターフェイス

* Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) 5 試験、セクション 1: NDB の概念の説明、目標 1.6: 言語

最新問題: 14

NDB アラート保持機能に関して正しいのはどれですか?

- A. NDB はアラートの保持をグローバルにサポートします。
- B. NDB は、個別のポリシーでの保存をサポートします。
- C. NDB は、グループ化されたポリシーでの保持をサポートします。
- D. NDB は、登録されたクラスターでの保持をサポートします。

Answer: A (メッセージを残す)

NDB アラート保持機能を使用すると、データベース管理者は、NDB アラートが NDB インスタンスに保存および表示される期間を構成できます。NDB アラート保持機能は、アラート保持をグローバルにサポートします。つまり、ソース クラスター、ポリシー、または操作に関係なく、NDB インスタンスによって生成されるすべてのアラートに同じ保持期間が適用されます。データベース管理者は、アラートの保持期間を 1 日から 365 日まで設定することも、アラートを無期限に保持することも選択できます。NDB アラート保持機能は、ストレージスペースと NDB アラートの可視性の管理に役立ちます。

NDB アラート保持機能は、個別のポリシー、グループ化されたポリシー、または登録済みクラスターレベルでの保持をサポートしません。NDB アラート保持機能はすべてのアラートに均一に

適用され、データベース管理者が異なるポリシーまたはクラスターに対して異なる保持期間を指定することはできません。

参考文献:

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 3: Nutanix Era の展開、レッスン 3.2: Nutanix Era の展開、スライド 11。

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 5: Nutanix Era の操作、レッスン 5.1: Nutanix Era の操作、スライド 6。

最新問題: 15

管理者は、任意の 1 秒までのタイムトラベル機能を 5 日間維持し、さらに 1 日おきに 7 日間の個別リカバリを維持する必要があります。

管理者は SLA で頻度と保持期間をどのように定義する必要がありますか？

A. * 連続ログ保存期間 (日): 7

* 毎日のスナップショットの保持 (日): 5

B. * 継続的なログ保持期間 (日): 5

* 毎週のスナップショット保持 (週): 1

C. * 毎週のスナップショット保持期間 (週): 1

※連続ログ保存期間 (日)7 :

D. * 毎日のスナップショットの保持期間 (日): 7

※連続ログ保存期間 (日)5 :

Answer: ([解答を表示する](#))

正解は D です。これは、任意の 1 秒までのタイムトラベル機能を 5 日間維持し、さらに 1 日おきに 7 日間の離散回復機能を維持するという要件を満たしているためです。継続的なログ保持により、管理者は指定された日数内の任意の時点でデータベースを復元できます。一方、スナップショット保持により、管理者は一定の間隔でデータベースを特定の時点で復元できます。

したがって、毎日のスナップショット保持期間を 7 日に設定することで、管理者は曜日ごとに個別の回復ポイントが存在することを保証できます。継続的なログ保持期間を 5 日間に設定することで、管理者は過去 5 日間の任意の秒へのタイムトラベル機能があることを保証できます。他のオプションは、連続ログ保持期間が 5 日未満であるか、スナップショット保持期間が 7 日未満であるため、要件を満たしていません。参考資料: Nutanix データベース管理 & オートメーション (NDMA) コース、Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) 認定、Nutanix NCP-DB 認定試験のシラバスおよび学習ガイド、Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) データシート

最新問題: 16

管理者は、NDB SLA を監査する任務を負っています。管理者はどのデータを確認するのでしょうか？

A. スナップショットのスケジュール

B. クローン管理

C. データ保持ポリシー

D. 目標復旧時間

Answer: C (メッセージを残す)

NDB SLA は、NDB が管理するデータベースのデータ保護とリカバリの目標を定義するサービスレベル アグリーメントです。NDB SLA は、データベースのスナップショットとログ バックアップを Time Machine に保持する期間を指定するデータ保持ポリシーで構成されます。データ保持ポリシーは、日次、週次、月次、年次などの保持期間など、さまざまなビジネス要件やコンプライアンス要件を満たすようにカスタマイズできます。NDB SLA は、スナップショットとログ バックアップの頻度とスケジュール、ストレージの場所とレプリケーションも決定します。オプション。NDB SLA の監査を担当する管理者は、各データベースと Time Machine のデータ保持ポリシー、スナップショットとログのバックアップ履歴とステータスを確認します。管理者は、ストレージの使用状況と NDB SLA のパフォーマンスを監視し、必要に応じて SLA を変更または削除することもできます。他のオプションは NDB SLA の一部ではなく、NDB の別個の機能または概念です。スナップショット スケジュールは、NDB がデータベースのスナップショットを取得する間隔であり、SLA によって決定されます。クローン管理は、Time Machine からデータベース クローンを作成、更新、または削除するプロセスです。目標復旧時間 (RTO) は、障害後にデータベースを復元するために許容される最大時間であり、SLA の影響を受けますが、SLA によって定義されるわけではありません。参考文献:

* Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) v6.5、セクション 5 - Time Machine を使用した NDB 管理データベースの保護、目標 5.1: SLA 保持ポリシーの作成、削除、および変更

* Nutanix データベース管理と自動化 (NDMA) コース、モジュール 4: Nutanix データベース サービス (NDB) データ保護、レッスン 4.1: データ保護の概要、トピック: SLA の概念

* Nutanix データベース サービス (NDB) ユーザー ガイド、第 6 章: SLA、セクション: SLA の概要

有効な **NCP-DB** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい NCP-DB 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **NCP-DB** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com NCP-DB 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com NCP-DB 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Nutanix/NCP-DB-mondaishu.html> (**25330%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

管理者は NDB にストレッチ VLAN を追加しています。

このタスクを満たすのはどの VLAN タイプですか？

- A. NDB で管理されていない VLAN のみ
- B. NDB で管理される静的 VLAN のみ
- C. ダイナミック VLAN のみ
- D. 静的 VLAN と動的 VLAN の両方

Answer: (解答を表示する)

管理者は、静的 VLAN または動的 VLAN を使用して、NDB にストレッチ VLAN を追加できます。ストレッチ VLAN は、複数の Nutanix クラスタにまたがる VLAN で、NDB 管理のデータベースが異なるクラスタ間で通信および移行できるようにします。静的 VLAN は、管理者によって手動で構成され、データベース サーバー VM とデータベースに割り当てられる VLAN です。ダイナミック VLAN は、Nutanix Calm オーケストレーション サービスを使用して、NDB インスタンスによって自動的に構成され、データベース サーバー VM とデータベースに割り当てられる VLAN です。クラスタ全体で同じ VLAN ID とネットワーク構成を持っている限り、静的 VLAN と動的 VLAN の両方を使用して NDB でストレッチ VLAN を作成できます。

管理者は、NDB で管理されていない VLAN のみを使用して、NDB にストレッチ VLAN を追加することはできません。NDB で管理されない VLAN は、Nutanix Prism Web コンソールまたはその他のツールを使用して、データベース サーバー VM および NDB インスタンスの外部のデータベースに設定および割り当てられる VLAN です。NDB で管理されていない VLAN は、NDB インスタンスによって認識または制御されないため、NDB でストレッチ VLAN を作成するために使用できません。

参考文献:

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 4: Nutanix Era の構成、レッスン 4.1: Nutanix Era の構成、スライド 8。

* Nutanix データベース管理および自動化トレーニング コース、モジュール 6: Nutanix 時代の災害復旧、レッスン 6.1: Nutanix 時代の災害復旧、スライド 6 ~ 7。

最新問題: 18

管理者は、NDB に登録された AHV クラスタで LCM アップグレードを実行する必要があります。このクラスタは、データベース サーバー クラスタの一部である NDB によってプロビジョニングされたデータベース サーバー VM をホストします。

クラスタのアップグレード中に DB サーバー VM を引き続き使用できるようにするには、管理者は何をすべきですか？

- A. Nutanix クラスタの更新
- B. VM とホストのアフィニティを設定します
- C. Nutanix クラスタを削除します
- D. VM-ホスト アフィニティの設定を解除します

Answer: B (メッセージを残す)

正解は B です。VM-ホスト アフィニティを設定すると、LCM アップグレード プロセス中に DB サーバー VM が別のホストに移行されなくなります。こうすることで、DB サーバー VM は中断することなくデータベース要求を処理し続けることができます。Nutanix クラスタを更新しても DB サーバー VM の別のホストへの移動は妨げられないため、オプション A は不正解です。オプション C は不正解です。NDB から Nutanix クラスタを削除すると、DB サーバー VM が NDB で管理されなくなり、NDB 機能の利点が失われます。オプション D は不正解です。VM-ホスト アフィニティの設定を解除すると、LCM アップグレード プロセス中に DB サーバー VM が別のホ

ストに移行される可能性があり、ダウンタイムやパフォーマンスの低下が発生する可能性があります。

参考資料: 次のソースでは、NDB での LCM アップグレードと VM とホストのアフィニティに関する詳細情報が提供されています。

* Nutanix データベース管理と自動化 (NDMA) コース、モジュール 6: NDB 環境の管理、レッスン 6.3: NDB ソフトウェア アップグレードの実行

* Nutanix Certified Professional - データベース自動化 (NCP-DB) v6.5、知識目標、セクション 6 - NDB 環境の管理

* Nutanix データベース サービス (NDB) ユーザー ガイド、第 8 章: NDB 環境の管理、セクション 8.3: NDB ソフトウェアのアップグレードの実行

* Nutanix のサポートとインサイト、アップグレードのガイド、LCM 設計

* Nutanix Life Cycle Manager ガイド、第 3 章: ソフトウェアとファームウェアのアップグレード、セクション 3.2:

アップグレードの準備、VM-ホスト アフィニティ

最新問題: 19

管理者は、SQL Server シングル ノード データベース サーバー VM を NDB に登録する必要があります。

管理者がこのタスクを完了する前に、どの条件が満たされていなければなりませんか？

- A. データベース ファイルは Windows OS ブート ドライブに存在する必要があります。
- B. 指定されたログイン アカウントは、sysadmin ロールのメンバーである必要があります。
- C. SQL サービス アカウントには、マウント ポイントに対する読み取り権限があってはなりません。
- D. SQL Server インスタンスはシングルユーザー モードである必要があります。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

SQL Server シングル ノード データベース サーバー VM を NDB に登録する前に、このタスクに指定されたログイン アカウントが sysadmin ロールのメンバーである必要があります。これにより、SQL Server インスタンスの管理に必要な権限が確保されます。参照:Nutanix Database Automation ドキュメントの SQL Server データベースの登録と権限の要件に記載されています。

最新問題: 20

NDB ログ キャッチアップ操作に対して構成可能な最小頻度は何分ですか？

- A. 10
- B. 15
- C. 60
- D. 120

Answer: B ([メッセージを残す](#))

NDB ログ キャッチアップ操作に対して構成可能な最小頻度は 15 分です。この設定は、ログ キャッチアップ プロセスを実行する頻度を決定します。これは、データの整合性を維持し、データ

ベースを最新の状態に保つために重要です。参考資料: ログ管理とキャッチアップ操作の設定に焦点を当てた Nutanix Database Automation ドキュメント。

最新問題: 21

管理者はどのように NDB コマンド ラインを入力して NDB VM の静的 IP アドレスを変更しますか?

- A. 元サーバー
- B. 時代
- C. セレブロ_cli
- D. 算術 CLI

Answer: C (メッセージを残す)

NDB VM の静的 IP アドレスを変更するには、管理者は cerebro_cli コマンドを使用して NDB コマンド ラインを入力する必要があります。cerebro_cli コマンドは、NDB インスタンスとそのコンポーネントの管理を担当する Cerebro サービスにアクセスするために使用されます。cerebro_cli コマンドは、NDB VM から、または NDB VM にネットワーク接続されている他の VM から実行できます。cerebro_cli コマンドには、NDB VM の IP アドレス、ホスト名、パスワード、証明書の変更など、さまざまなタスクを実行するためのさまざまなサブコマンドとオプションがあります。静的 IP アドレスを変更するには、管理者は新しい IP アドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーなどの適切なパラメータを指定して cerebro_cli network update サブコマンドを使用する必要があります。cerebro_cli network update サブコマンドでは、管理者が認証のために NDB VM の現在のパスワードを入力することも必要になります。IP アドレスを変更した後、管理者は変更を有効にするために NDB VM を再起動する必要があります。参考文献:

* Nutanix Certified Professional - Database Automation (NCP-DB) v6.5、セクション 2 - NDB ソリューションのデプロイと構成、目標 2.2: NDB インスタンスの構成

* Nutanix データベース管理と自動化 (NDMA) コース、モジュール 3: Nutanix データベース サービス (NDB) のインストールと構成、レッスン 3.2: NDB の構成、トピック: NDB VM の IP アドレスの変更

* Nutanix データベース サービス (NDB) コマンド ライン インターフェイス ガイド、第 2 章: Cerebro CLI、セクション: cerebro_cli ネットワークの更新

最新問題: 22

管理者は、記憶域スペースにプロビジョニングされたデータベースを復元する必要があります。仮想ディスクは複数のデータベースと共有されます。

どの復元方法がサポートされていますか?

- A. NDB GUI を介したディスクベースの復元
- B. NDB CLI を介したディスクベースのリストア
- C. NDB GUI を介したコピーベースのリストア
- D. NDB CLI を介したコピーベースのリストア

Answer: (解答を表示する)

記憶域スペース上にプロビジョニングされたデータベースを復元する場合、特に仮想ディスクが複数のデータベース間で共有されている場合、サポートされる方法は、NDB GUI を介したコピーベースの復元です。この方法により、共有ストレージ環境に適した正確で制御された復元プロセスが可能になります。参考資料:Nutanix Database Automation ドキュメント、特にデータベースの復元方法とストレージスペースに関するセクション。

最新問題: 23

管理者はOracle Database Server VMにパッチを適用する必要がある、Gridホームに十分な記憶域が割り当てられていることを確認する必要があります。

このタスクを完了する前に、グリッド ホームに少なくともどれだけのスペースが必要ですか？

- A. 5 GB
- B. 10GB
- C. 15GB
- D. 20 GB

Answer: B (メッセージを残す)

Oracle Database Server VMにパッチを適用するときは、Gridホームに十分な記憶域が割り当てられていることを確認することが重要です。この目的のために、ストレージの制約なしでパッチ適用プロセスに対応するには、少なくとも 10 GB のスペースが必要です。参考: Nutanix Database Automation ドキュメント、特に Oracle データベース サーバーの VM 管理とパッチ適用要件について説明するセクション。

最新問題: 24

NDB コンピューティング プロファイルには何が含まれますか？

- A. vCPU、vCPU ごとのコア、およびデータベース サーバー VM のメモリ量。
- B. Windows ドメイン名 (FQDN)、ドメイン ユーザー、およびパスワード。
- C. 新しいデータベース サーバー VM が使用する VLAN。
- D. 登録されたデータベース サーバー VM から生成されたデータベースとオペレーティング システムのイメージ。

Answer: A (メッセージを残す)

NDB コンピューティング プロファイルは、NDB を使用してプロビジョニングされるデータベース サーバー VM の CPU およびメモリ リソースを定義します。これには、データベース サーバー VM のネットワーク、ドメイン、またはソフトウェアに関する情報は含まれません。これらは、ネットワーク プロファイル、ドメイン プロファイル、ソフトウェア プロファイルなどの個別のプロファイルで指定されます。

参考資料: Nutanix サポートとインサイト、セクション「NDB コンピューティング」

最新問題: 25

ユーザーが午後 10 時 42 分に誤ってデータベース内のテーブルを削除し、NDB 管理者はテーブルを復元する任務を負いました。

スナップショットのスケジュールは 30 分ごとに設定され、ログのキャッチアップは 15 分ごとに設定されます。利用可能な最後のスナップショットは午後 10 時 30 分です。

データ損失を最小限に抑えてテーブルを復元する最適なパスは何ですか？

- A. 午後 10 時 42 分のスナップショットを復元します。
- B. 午後 10 時 41 分までの時点を使用して復元します。
- C. 午後 10 時 42 分までの時点を使用して復元します。
- D. 午後 10 時 30 分のスナップショットを復元します。

Answer: ([解答を表示する](#))

データ損失を最小限に抑えてテーブルを復元する最適なパスは、NDB のポイント イン タイム リストア機能を使用することです。これにより、管理者は、利用可能なスナップショットとログに基づいてデータベースを特定の時点に復元できます¹。午後 10 時 42 分までのポイント イン タイムを使用して復元することで、管理者はユーザーが削除する直前にテーブルを復元し、データ損失を最小限に抑えることができます¹。他のオプションは、古いスナップショットの復元が含まれるため、より多くのデータ損失が発生する可能性があるか、存在しないスナップショットの復元が不可能であるため、最適ではありません。参考文献:

* 1: Nutanix Database Automation (NCP-DB) コース、モジュール 6: データベースのリカバリ、レッスン 6.2: ポイント イン タイム リストア、スライド 5

最新問題: 26

ソース データベースのトランザクション ログをログにコピーする前に一時的に保存するには何を使用しますか？

- A. データベース エージェント
- B. NDB ドライブ
- C. タイムマシン
- D. NDB プロファイル

Answer: ([解答を表示する](#))

データベース エージェントは、ソース データベースのトランザクション ログをログにコピーする前に一時的に保存するために使用されます。これは、データベース操作におけるデータの一貫性とリカバリを確保するための重要なコンポーネントです。参考資料: Nutanix Database Automation ドキュメント。データベース エージェントとトランザクション ログ管理におけるその役割に焦点を当てています。

Valid NCP-DB Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing NCP-DB Exam!

GoShiken.com now offer the **newest NCP-DB exam dumps**, the GoShiken.com NCP-DB exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com NCP-DB dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/Nutanix/NCP-DB-mondaishu.html> (253 Q&As Dumps, 30%OFF

Special Discount: **Freepdfdumps**)